

記者発表資料  
平成23年9月16日  
畜産課（草地飼料班）  
担当 伊藤，及川，四ノ宮  
内線 2852

## 宮城県内の粗飼料の放射性物質測定結果に基づく対応について

東北大学の協力により、牧草、発酵粗飼料用イネの放射性物質の測定結果がでましたので、お知らせします。

### 1 牧草について

**栗原市栗駒の一部において、測定した全地点で暫定許容値を下回っていることが確認されたことから、牧草の給与及び放牧の自粛要請を解除します（8月31日以降に収穫した再生草に限り給与・利用が可能です）。**

今回の自粛要請解除により、県内で牧草の自粛要請地域はなくなりました。

今後も牧草の生育状況を見ながら調査を継続してまいります。

### 2 発酵粗飼料用イネについて

収穫後の発酵粗飼料用イネを調査したところ、測定した全地点で暫定許容値を大きく下回っていることが確認されました。**県北部において、牧草収穫機を使って収穫・調製したのものについては給与して差し支えありません。**県南部においては、引き続き追加調査を行います。

**なお、専用収穫機により収穫・調製したものについては既に調査を終えており、県内全域で給与して差し支えありません。**

県北部…石巻市，気仙沼市，登米市，栗原市，東松島市，大崎市，色麻町，加美町，  
涌谷町，美里町，女川町，南三陸町

県南部…仙台市，塩竈市，白石市，名取市，角田市，多賀城市，岩沼市，蔵王町，  
七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，丸森町，亘理町，山元町，  
松島町，七ヶ浜町，利府町，大和町，大郷町，富谷町，大衡村

### 3 測定結果について

裏面のとおりに

## 粗飼料の放射性物質測定結果について

### 1 採取日

平成23年9月9日（金）～14日（水）

### 2 測定依頼機関

東北大学（宮城県仙台市）

### 3 測定結果について

#### （1）牧草

（単位：ベクレル/kg）

種別	採取場所	放射性セシウム 測定値*1	備考
牧草	栗原市	69	自粛解除
牧草	栗原市	28	自粛解除
牧草	栗原市	115	自粛解除

※1：水分補正はしていない

#### （2）発酵粗飼料用イネ

（単位：ベクレル/kg）

種別	採取場所	放射性セシウム 測定値*1	収穫体系
発酵粗飼料用イネ	丸森町	10	牧草収穫機により収穫したもの
発酵粗飼料用イネ	大崎市	不検出	〃
発酵粗飼料用イネ	大崎市	不検出	〃
発酵粗飼料用イネ	栗原市	不検出	〃
発酵粗飼料用イネ	栗原市	不検出	〃
発酵粗飼料用イネ	登米市	11	〃
発酵粗飼料用イネ	登米市	22	〃

※1：水分補正はしていない

※2：発酵粗飼料用イネ…子実と茎葉を同時に収穫し発酵させ、牛の飼料とするために栽培されたイネ

### 【参考】

飼料中の放射性セシウムの暫定許容値（平成23年8月1日設定）

牛，馬，豚，家きん等用飼料中に含まれることが許容される最大値300ベクレル/kg  
（粗飼料は水分含有量8割ベース，その他飼料は製品重量）

ただし，乳用牛（経産牛及び初回交配以降の牛）又は肥育牛以外の牛のうち，当分の間，と畜出荷することを予定していない牛に給与される粗飼料であって，その生産者自ら生産したもの，又は，単一若しくは近隣の複数の市町村内で耕畜連携の取組等により生産したものについては，例外的に3000ベクレル/kg（水分含有量8割ベース）まで使用を認める。この飼料を摂取した育成牛は，肥育牛として12ヶ月以上肥育した後にと畜出荷すること。

(参考)

### 【牧草収穫機体系】



①モアで刈り取り



②テッターで反転。乾燥を促進



③レーキで集草。ウインドローを作る



④ロールベアラで梱包。ヘールラップでラッピング

### 【専用収穫機体系】



①専用収穫機で刈り取り



②ロールを直接ヘールラップへ排出可能



③移動しながらラッピング



④リフト機能でトラックへの積み込みが可能